



平成 22 年 8 月 30 日

各 位

会 社 名 総合商研株式会社
 代表者名 代表取締役会長 加藤 優
 (JASDAQ・コード 7850)
 問合せ先 企画管理本部課長
 堀之内 弘
 電話番号 011-780-5677(代表)

特別損失の計上及び繰延税金資産の取崩し並びに業績予想の修正に関するお知らせ

平成 22 年 7 月期末において、下記のとおり特別損失の計上及び繰延税金資産の取崩しが発生しましたので、その概要をお知らせいたします。

また、特別損失の計上、繰延税金資産の取崩し及び最近の業績動向を踏まえ、平成 22 年 3 月 4 日付「平成 22 年 7 月期 第 2 四半期決算短信（非連結）」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 特別損失の計上とその内容

(1) 関係会社株式評価損

「関係会社株式」に区分される保有有価証券のうち、実質価額が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、平 22 年 7 月期末において減損処理による関係会社株式評価損を計上いたします。

○平成 22 年 7 月期における関係会社株式評価損

	単体
(A)平成 22 年 7 月期第 4 四半期会計期間（平成 22 年 5 月 1 日から平成 22 年 7 月 31 日まで）の関係会社株式評価損の総額（＝イーロ）	24 百万円
(イ)平成 22 年 7 月期（平成 21 年 8 月 1 日から平成 22 年 7 月 31 日まで）の関係会社株式評価損の総額	25 百万円
(ロ)直前四半期（平成 22 年 7 月期第 3 四半期）累計期間（平成 21 年 8 月 1 日から平成 22 年 4 月 30 日まで）の関係会社株式評価損の総額	1 百万円

※四半期における有価証券の評価方法は、洗替え方式を採用しております。

※当社の決算期末は、7 月 31 日です。

○純資産額・経常利益額・当期純利益額に対する割合

	単体
(B) 平成 21 年 7 月期末の純資産額	1,799 百万円
(A/B×100)	1.35%
(イ/B×100)	1.44%
(C) 最近 5 事業年度の経常利益の平均額	296 百万円
(A/C×100)	8.23%
(イ/C×100)	8.77%
(D) 最近 5 事業年度の当期純利益の平均額	201 百万円
(A/D×100)	12.1%
(イ/D×100)	12.9%

(2) 投資有価証券評価損

「其他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、平 22 年 7 月期末において減損処理による投資有価証券評価損を計上いたします。

○平成 22 年 7 月期における投資有価証券評価損

	単体
(A) 平成 22 年 7 月期第 4 四半期会計期間 (平成 22 年 5 月 1 日から平成 22 年 7 月 31 日まで) の投資有価証券評価損の総額 (=イーロ)	20 百万円
(イ) 平成 22 年 7 月期 (平成 21 年 8 月 1 日から平成 22 年 7 月 31 日まで) の投資有価証券評価損の総額	38 百万円
(ロ) 直前四半期 (平成 22 年 7 月期第 3 四半期) 累計期間 (平成 21 年 8 月 1 日から平成 22 年 4 月 30 日まで) の投資有価証券評価損の総額	17 百万円

※四半期における投資有価証券の評価方法は、洗替え方式を採用しております。

※当社の決算期末は、7 月 31 日です。

○純資産額・経常利益額・当期純利益額に対する割合

	単体
(B) 平成 21 年 7 月期末の純資産額	1,799 百万円
(A/B×100)	1.14%
(イ/B×100)	2.14%
(C) 最近 5 事業年度の経常利益の平均額	296 百万円
(A/C×100)	6.95%
(イ/C×100)	13.03%
(D) 最近 5 事業年度の当期純利益の平均額	201 百万円
(A/D×100)	10.20%
(イ/D×100)	19.11%

2. 繰延税金資産の取崩しとその内容

当社が計上しておりました繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、その一部を取崩すことといたしました。この結果、平成 22 年 7 月期決算において法人税等調整額に 21 百万円を計上いたします。

3. 業績の予想の修正

(1) 平成 22 年 7 月期 通期業績予想数値の修正（平成 21 年 8 月 1 日～平成 22 年 7 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,500	150	155	50	16.35
今回発表予想(B)	11,829	82	85	△9	△3.11
増減額(B-A)	329	△67	△69	△59	—
増減率(%)	2.9	△45.2	△44.8	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 21 年 7 月期)	10,525	256	253	118	38.81

(2) 業績予想修正の理由

企業の広告宣伝費の抑制の中にあつて受注環境は依然として厳しいものの、商業印刷の受注が新規取引を中心に北海道・本州地区共に堅調に推移しており、売上高は 11,829 百万円（前回予想比 2.9%増、前期比 12.4%増）の見込みであります。

一方利益につきましては、コスト削減と採算管理を強化しておりますが、印刷用紙等の材料費の高止まり、競争激化・広告宣伝費の抑制による受注単価の低下、受注拡大に伴う体制強化による労務費・人件費の増加等により、利益率が低下傾向にあることから、営業利益は 82 百万円（前回予想比△45.2%減、前期比△67.9%減）、経常利益は 85 百万円（前回予想比△44.8%減、前期比△66.3%減）、と前回発表予想を下回る見込みであります。

当期純利益につきましても、期末において関連会社株式評価損、投資有価証券評価損の特別損失の計上や、繰延税金資産の取崩しによる法人税等調整額の計上が発生することから、△9 百万円となる見込みであります。

なお、当期の期末配当は前回公表の通り、1 株当たり 8 円を予定しております。

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、今後の様々な要因により予想と異なる可能性があります。

以 上